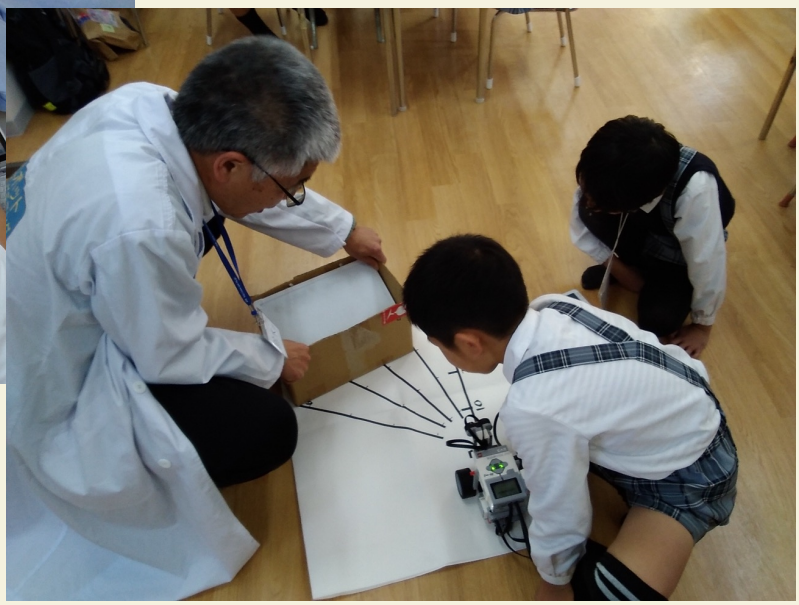
ロボットプログラミング教室

「ファルコンきっず」

大きな未来の小さなきっかけをあたえる教室です！



アイデアマラソン研究所

ごあいさつ

アイデアマラソン研究所の所長の樋口健夫です。
5歳児、6歳児の創造性を高めるためには、まず楽しいことが大切です。そこでロボットを取り入れました。
小さな指でタブレットにプログラムを組んで、
ロボットが動き出す！素晴らしい瞬間です。
子供たちの目が輝きます。とても楽しく
贅沢な教室です。

私たちの目指すこと

✓科学への興味や、そのきっかけをつくります

✓ロボットの持つわくわく感を、いつも大切にします

✓こどもたちの自由な発想を尊重します

そのために

・「なぜかな、どうなっているのかな」を、自分で考えさせ、友達と一緒に考えてもらう

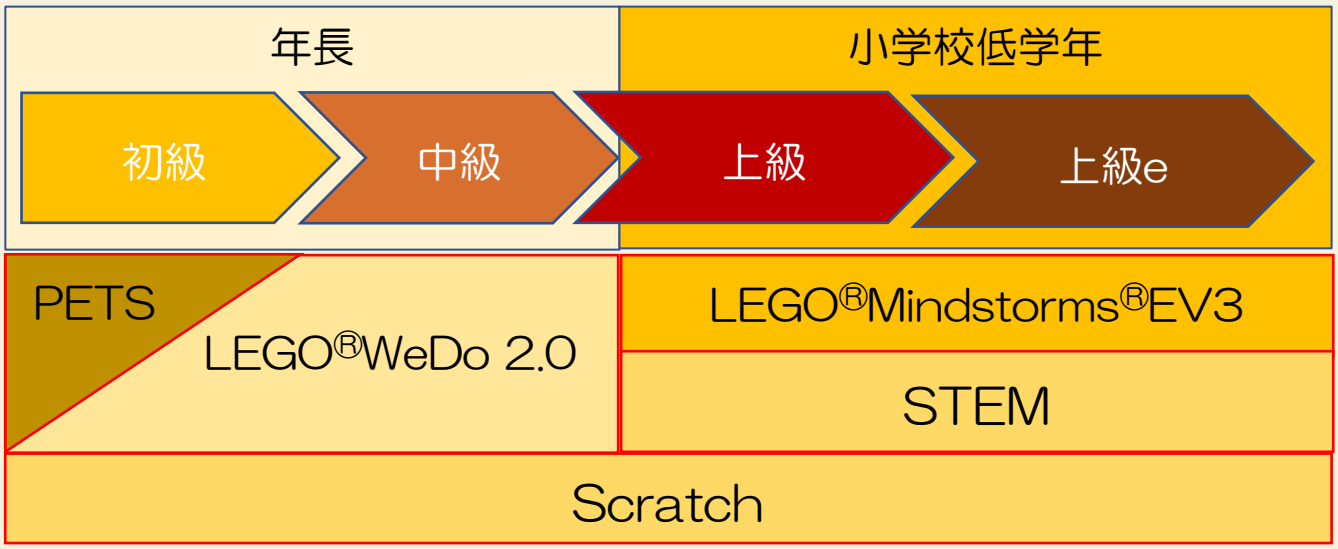
・ハードウェア(モノづくり)や、ソフトウェア(論理的思考、プログラミング)、アート等いろいろことに挑戦し、いろいろなことに興味をもってもらう

・いくつかのやり方を提示し、答えは、ひとつではないことを気づいてもらう

ファルコンきっずの特徴

1. 生徒3名にインストラクター1名を配置
   子供たちが本当に理解しているかどうかを観察し、ひとりひとりの理解度に合わせて指導します。
2. いろいろなロボットやプログラミング環境を体験
   子供たちの学習の進度に応じて、各種教材やツールを体験できます。
3. 学習の記録を「専用ロボットノート」に記録
   子供たちが学習したことを、子供たち自身が毎回、記録します。
4. 授業料以外の費用負担はなし
   ロボット教材、PC／タブレットは、全て教室側で提供いたします。ご家庭で購入いただくものは一切ございません。
5. いつもの幼稚園で開催
   幼稚園の課外授業として実施しますので、保護者のみなさまも、安心して任せられます。

幼稚園年長、小学生低学年を対象とし、ロボットを使って、プログラミング体験を楽しみながら学習できます

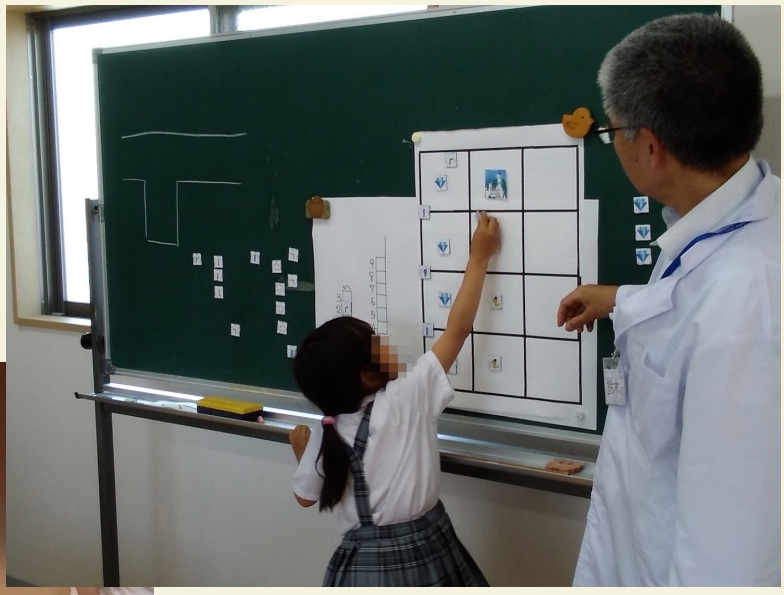


クラスは、半年ごとに初級、中級、上級、上級eと進み、進度に応じて高度な教材に移行します。また、上級からは電気、力学、算数などSTEM教育※もいたします。
（※STEM教育とは、子供のうちからロボットやIT技術などに触れて「自分で学ぶ力」を養う新しい教育のことで、科学、技術、エンジニアリング、数学の略）

実績

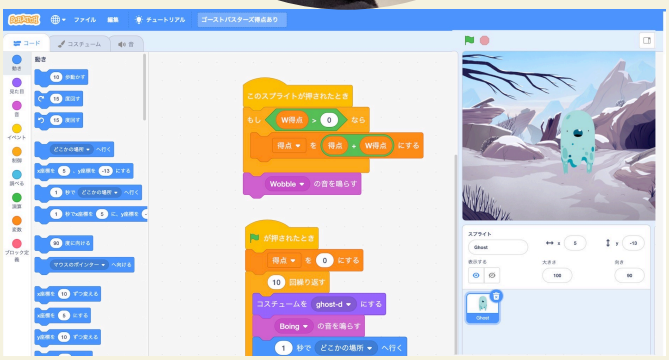
設立　　2019年4月
修了児童数　239名
（各コースを修了した児童の延べ人数　2022年9月現在）

教室数（常時開催）	東京都	2	茨城県	1	埼玉県	1
	千葉県	1				
（季節開催）	神奈川	1	茨城県	1	千葉県	1
（R5年度新規予定）	東京都	1	神奈川	2	茨城県	1
	千葉県	1	埼玉県	1		



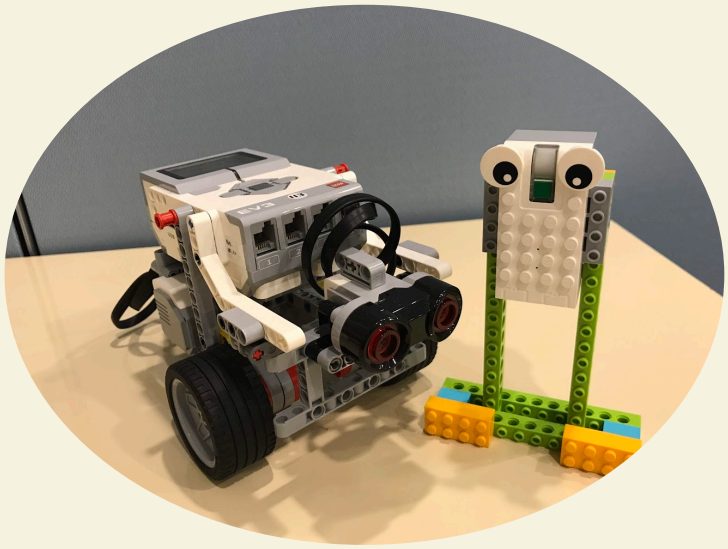
教材のご紹介

PETS：
コンピュータを学べる箱型の自走式ロボットです。
動きを記憶したブロックを挿しこんで自由に動かします。
マップ（3x4のマス）上に、ケーキ（必ず通る）や、爆弾（通ってはいけない）を配置し、ゴールのお城を目指します。
ゲームを通して、プログラムの基本の逐次処理、分岐や繰り返し処理を体感できることが特徴です。



Scratch（スクラッチ）：
アメリカMITメディア・ラボで作られた無料のプログラミング言語です。導入の手軽さなどから幅広い年齢・国籍の方に使われています。日本でも必修化された小学校のプログラミング授業でも数多くの採用事例があります。タブレットやPCで、基本的な操作はドラッグ＆ドロップのみで、プログラムすることができます。コードを書かなくてもよい点が特徴です。

LEGO®WeDo 2.0：
レゴブロックを組み立てて動かすことで、子供たちが楽しみながらプログラミングと「ものづくり」の概念を学ぶことができるロボットプログラミング教材です。レゴブロックを使用することで、子供達の心を掴み、自然にプログラミングやものづくりの考え方を身につけることができます。まず、ブロックを使っていろいろなロボットを組み立て、その後、タブレットやPCを使って、ビジュアル的なプログラミングソフトウェアで視覚的にロボットの動作を設定していきます。論理的な考え方を学ぶことができます。



左:EV3　右:WeDo

LEGO®Mindstorms ® EV3：
MIT（マサチューセッツ工科大学）とレゴ社が共同開発した、教育用ロボットキットです。 センサーやモーターを使ってロボットを作ったり、センサーを使って科学実験などに利用できます。
STEM教育の知識を体験的に学習することができるプログラミングロボット。 同教材は、簡単に組み立てることができ、プログラミングによりロボットの動作を設定することで、プログラムによる計測と制御の基本を学ぶことができるという。

会社概要

会社名	株式会社アイ・エム・ エス
代表者	樋口　健夫
住所	〒108-0072 東京都港区白金2-1-1-306
TEL	03-6822-8664
設立	2004年8月
事業内容	人材開発コンサルタント 児童教育コンサルタント 教育教材開発・販売
ホームページ	https://www.idea-marathon.com （「アイデアマラソン」で検索ください）

代表プロフィール

樋口 健夫（博士　知識科学）
1946年、京都市出身。大阪外大英語学科卒業。シドニーのマコーリー大学に留学。三井物産に入社。ナイジェリア、サウジアラビア、ベトナム、ネパールなどに駐在20年。電力プラント担当。ノートを使った自己啓発技法「アイデアマラソン発想法」(通称、アイデアマラソン)を考案し、退職後、「アイデアマラソン研究所」を設立。67歳で、博士号を取得、エッセイの執筆や、翻訳も多い。著書50冊、キンドル版30冊出版。

アイデアマラソン事業について

アイデアマラソンは、樋口健夫が1984年に国際競争に勝つために考案した手法で、ノートにアイデアを毎日書き続けることで、自主的に発想力を鍛える。2004年アイデアマラソン研究所を設立し、多くの企業や研究所での研修、QC活動と小集団活動の活性化、色々な大学でアイデアマラソン組み込み授業、JICA海外での研修を指導してきた。
また、幼少から創造性の芽を育むため、2010年に新描画の指導法「めだか」アイデアマラソンを考案、現在13か所の幼稚園と保育園で毎日子供たち700名以上が参加中。更に小学1年から3年向けに、毎日一つの質問に文と絵で応える「きっず」アイデアマラソンも行っている。

202211

Idea-
Marathon
アイデアマラソン研究所